

参考資料

1. その他業績関連資料
2. 最近の取り組み
3. プロジェクト事例
4. その他

1. その他業績関連資料

セグメント別外部連結受注高 <第3四半期累計>

(百万円)

	2013年3月期 3Q累計(4~12月)	2014年3月期 3Q累計(4~12月)	増減額	増減率
コンサルティング	17,946	19,505	+1,558	+8.7%
金融ITソリューション	102,255	99,644	△2,611	△2.6%
産業ITソリューション	35,262	30,244	△5,017	△14.2%
IT基盤サービス	11,116	26,810	+15,694	+141.2%
その他	6,067	6,376	+308	+5.1%
合 計	172,648	182,581	+9,932	+5.8%

1. その他業績関連資料

連結決算ハイライト <第3四半期>

■ 前年同期との比較

(百万円)

	2013年3月期 3Q(10~12月)	2014年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
売上高	86,000	96,903	+10,902	+12.7%
営業利益	10,707	12,260	+1,552	+14.5%
営業利益率	12.5%	12.7%	+0.2P	
経常利益	11,224	12,735	+1,511	+13.5%
四半期純利益	7,072	7,820	+747	+10.6%

1. その他業績関連資料

セグメント別外部連結売上高 <第3四半期>

(百万円)

	2013年3月期 3Q(10~12月)	構成比	2014年3月期 3Q(10~12月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	5,900	6.9%	6,670	6.9%	+769	+13.0%
金融ITソリューション	49,853	58.0%	56,387	58.2%	+6,533	+13.1%
証券業	23,865	27.7%	28,275	29.2%	+4,409	+18.5%
保険業	12,419	14.4%	12,796	13.2%	+376	+3.0%
銀行業	6,951	8.1%	8,387	8.7%	+1,435	+20.7%
その他金融業等	6,617	7.7%	6,929	7.2%	+312	+4.7%
産業ITソリューション	20,782	24.2%	22,061	22.8%	+1,279	+6.2%
流通業	11,417	13.3%	11,539	11.9%	+122	+1.1%
製造・サービス業等	9,365	10.9%	10,521	10.9%	+1,156	+12.3%
IT基盤サービス	7,330	8.5%	9,268	9.6%	+1,937	+26.4%
その他	2,133	2.5%	2,515	2.6%	+382	+17.9%
合計	86,000	100.0%	96,903	100.0%	+10,902	+12.7%
野村ホールディングス	19,969	23.2%	21,332	22.0%	+1,363	+6.8%
セブン&アイ・ホールディングス	11,509	13.4%	10,366	10.7%	△1,143	△9.9%

(注) 野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高には、それぞれの子会社に対するもの及びリース会社等を経由したものを含めています。

1. その他業績関連資料

主なセグメント別損益 <第3四半期>

■各セグメントは内部売上高を含む

(百万円)

		2013年3月期 3Q(10~12月)	2014年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
コンサルティング	売上高	5,925	6,709	+783	+13.2%
	営業利益	865	1,369	+504	+58.2%
	営業利益率	14.6%	20.4%	+5.8P	
金融ITソリューション	売上高	49,886	56,331	+6,445	+12.9%
	営業利益	5,070	6,475	+1,404	+27.7%
	営業利益率	10.2%	11.5%	+1.3P	
産業ITソリューション	売上高	20,793	22,084	+1,290	+6.2%
	営業利益	1,801	2,671	+869	+48.3%
	営業利益率	8.7%	12.1%	+3.4P	
IT基盤サービス	売上高	25,783	28,518	+2,735	+10.6%
	営業利益	2,493	1,038	△1,455	△58.4%
	営業利益率	9.7%	3.6%	△6.0P	

1. その他業績関連資料

サービス別連結売上高 <第3四半期>

(百万円)

	2013年3月期 3Q(10~12月)	構成比	2014年3月期 3Q(10~12月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	9,764	11.4%	10,759	11.1%	+995	+10.2%
開発・製品販売	31,076	36.1%	37,090	38.3%	+6,014	+19.4%
運用サービス	43,176	50.2%	46,909	48.4%	+3,732	+8.6%
商品販売	1,982	2.3%	2,143	2.2%	+160	+8.1%
合 計	86,000	100.0%	96,903	100.0%	+10,902	+12.7%

1. その他業績関連資料

連結P/Lハイライト <第3四半期>

(百万円)

	2013年3月期 3Q(10~12月)	2014年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
売上高	86,000	96,903	+10,902	+12.7%
売上原価	60,994	70,018	+9,023	+14.8%
外注費	27,992	34,725	+6,732	+24.1%
売上総利益	25,006	26,884	+1,878	+7.5%
売上総利益率	29.1%	27.7%	△1.3P	
販管費	14,298	14,624	+325	+2.3%
営業利益	10,707	12,260	+1,552	+14.5%
営業利益率	12.5%	12.7%	+0.2P	

1. その他業績関連資料

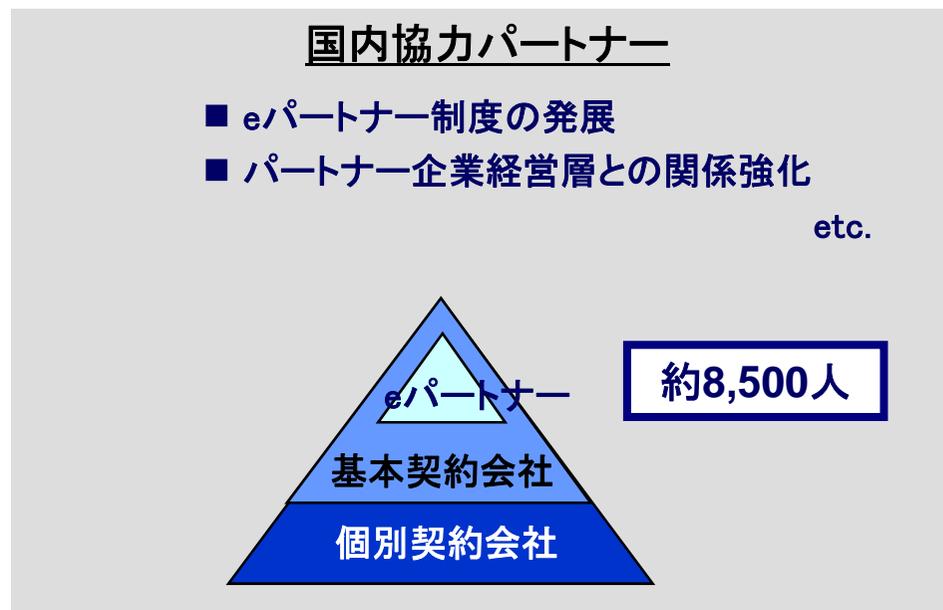
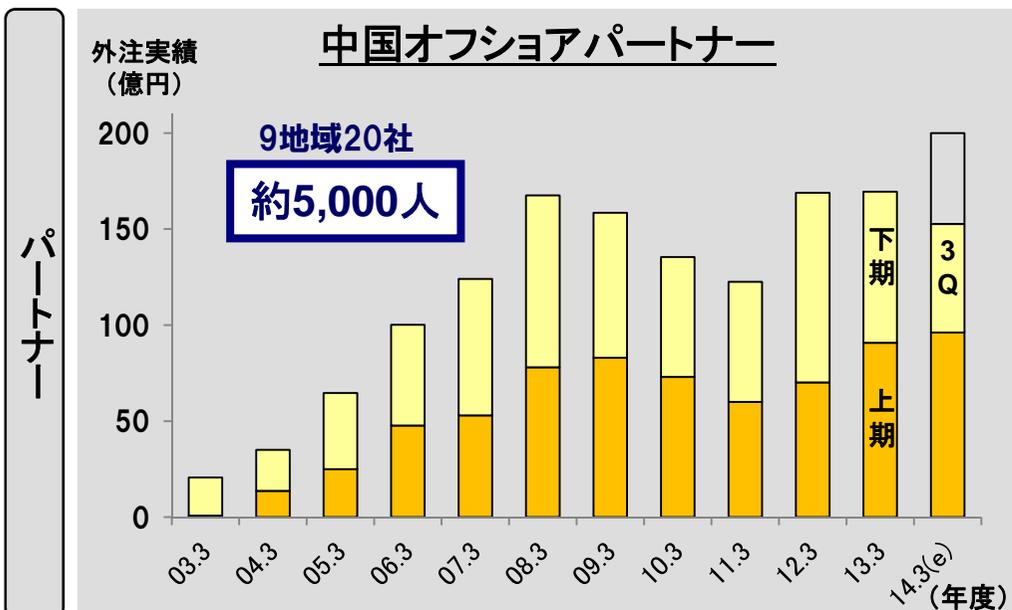
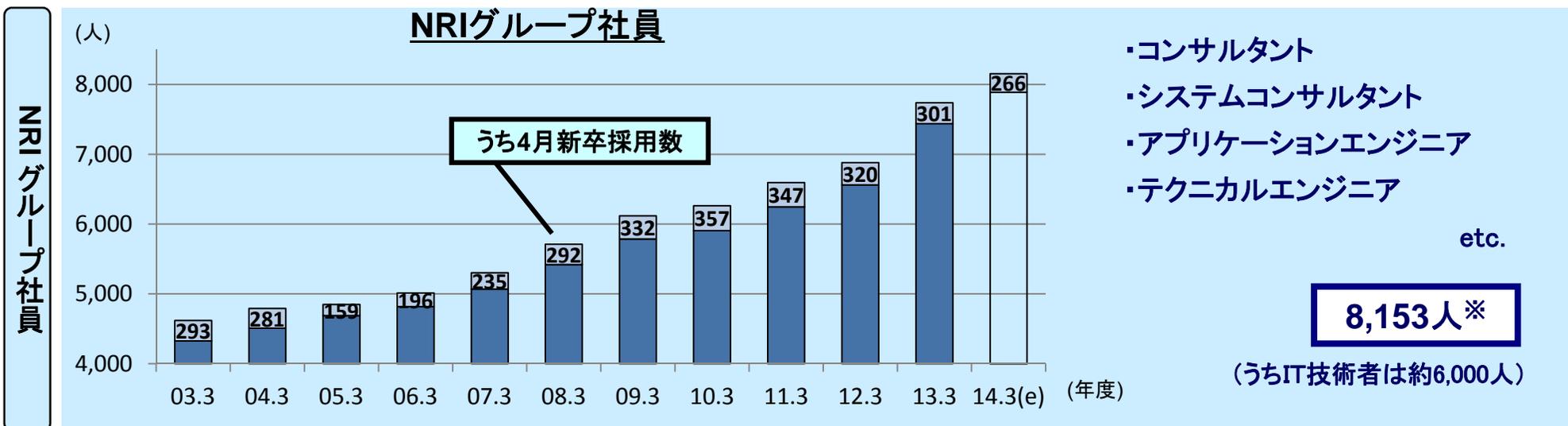
連結P/Lハイライト <第3四半期> 続き

(百万円)

	2013年3月期 3Q(10~12月)	2014年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
営業利益	10,707	12,260	+1,552	+14.5%
営業外損益	516	475	△41	
経常利益	11,224	12,735	+1,511	+13.5%
特別損益	△3,071	—	+3,071	
負ののれん発生益	4,661	—	△4,661	
固定資産売却損	△7,732	—	+7,732	
法人税等	1,083	4,909	+3,826	
四半期純利益	7,072	7,820	+747	+10.6%

1. その他業績関連資料

社員＋国内・中国協力パートナー



2. 最近の取り組み

「FinTech100」4年連続で9位にランクイン

- NRIは、世界の金融ITサービス企業の上位100社ランキング「FinTech100」において、2013年の第9位に選ばれた。日本企業では唯一のトップ10入りとなり、2010年から4年連続トップ10入りを果たした。
- 「FinTech100」は、米国の金融専門メディアである American Banker、Bank Technology News、および金融サービス企業IDC Financial Insightsが調査し発表している。
対象は、全世界の売り上げのうち金融関連事業の収益が全体の1/3以上を占める金融ITサービス企業である。ランキングは、エントリー企業に対する調査と、IDC Financial Insightsが独自に行う研究や市場分析に基づき、前年度の収益と、それに占める金融ソリューションの割合を評価して決定される。

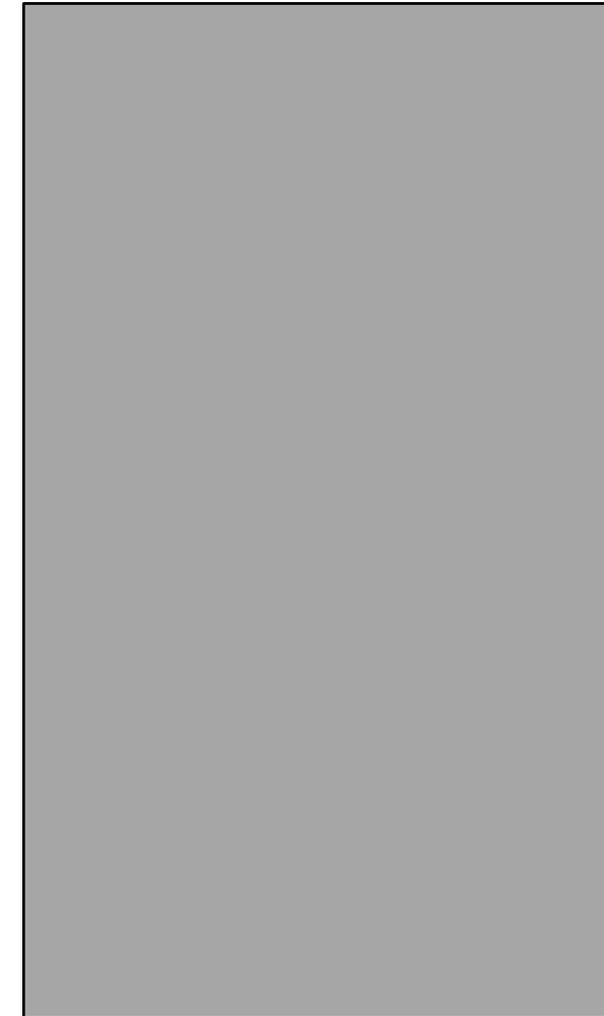
2013 ランク	会社
1	FIS
2	Tata Consultancy Services Limited (TCS)
3	Fiserv, Inc.
4	NCR Corporation
5	Cognizant Technology Solutions
6	Diebold, Incorporated
7	SunGard
8	Infosys Limited
9	Nomura Research Institute, Ltd.
10	Wincor Nixdorf Inc.

出所：American BankerのHP

2. 最近の取り組み

モンゴルの証券会社に 共同利用型ITソリューションを提供

- NRI FTインディアは、モンゴルのGlobal Investment Initiative社、インドのOmnesys Technologies社と業務提携し、モンゴルの現地証券会社を対象に、市場取引の注文受付から決済までを一貫して実施する、共同利用型のITソリューションを提供する。
- その第一号ユーザとして、モンゴルの証券業界最大手の一角であるRescap証券に対して、フロントオフィスからバックオフィスまでの包括的なシステム・ソリューション提供を2013年10月から開始した。
- これにより、Rescap証券は、注文から決済までの状況をリアルタイムで閲覧できるようになるなど、同国で最先端のサービスを提供できるようになった。



2013/11/2 日本経済新聞

2. 最近の取り組み

外国籍投資信託業務のソリューション 「FundWeb GAITO」を提供開始

- NRIは、野村バンク・ルクセンブルクに対して、外国籍投資信託を日本で販売する際に、人手を介さずデータ接続方式で行うソリューションの「FundWeb GAITO」(GAITO)の提供を開始した。
- GAITOは、国内のソリューションとして初めて、日本の投信運用会社・投信販売会社と海外トランスファーエージェント間の外国籍投信における業務データ連系の自動化を実現した。これにより、日本語での画面表示、日本時間を基準とした操作が可能であり、大幅に業務負荷とリスクの軽減が図れる。
- また、GAITO利用社向けヘルプデスクは、日本のビジネスアワーに合わせて対応し、時差を意識する必要がない。問合せには日本語で対応する。

◆ 外国籍投信を効率化
野村総合研究所(NRI) 外国籍投資信託業務を効率化するソリューションを、野村ホールディングス傘下のノムラ・バンク・ルクセンブルク(NBL、ルクセンブルク市)に納入した。外国籍投信を日本で販売する際にメールやファクスなど人手を介さずにデータ接続で行う。ネットワーク経由で利用するクラウド型で提供する。NBLは国内の販売会社23社と接続し、外国籍投信業務を行っている。

2013/12/12 日刊工業新聞

2. 最近の取り組み

全世界44,600社以上の
企業情報データを提供開始

- NRIは、香港のフィナンシャルインテリジェンスサービス(FISL社)が提供するグローバル企業情報について、日本における販売代理店契約を締結した。
- この契約に基づき、NRIが既に提供している金融情報データベース提供サービスIDSにおいて、FISL社がもつ海外の上場企業を中心とした企業情報データの提供を、2013年10月より開始した。
- FISL社のデータが加わることにより、NRIは企業のグローバルな投資活動を、より一層支援することが可能になった。

野村総研 金融企業 データ 香港社と代理店契約 海外上場企業を追加

野村総合研究所(NRI)は2日、香港の企業情報データを提供するフィナンシャルインテリジェンスサービス(FISL)と販売代理店契約を締結したと発表した。NRIの金融企業データベース提供サービスに、FISLの海外の上場企業を中心としたデータを追加して提供する。現在、英語版のみだが日本語版の提供も検討する。FISLのデータは企業間の比較を容易にした財務データと、各企業が開示した内容に忠実な財務データで構成する。それぞれ使いやすいフォーマットで提供。同社は全世界で約4万4600社のデータを保有する。同業他社と比べてアジア、中東、アフリカなど新興国の企業のデータが多いことが特徴。

2013/12/3 日刊工業新聞

2. 最近の取り組み

番号制度導入に関する実務情報を提供開始

- NRIは、「社会保障・税番号制度」(番号制度)が導入された際に、企業が対応すべき事項について調査した結果などを公開した。
- これは、番号制度が2016年1月から導入されることに伴い、企業がどのように対応すべきかを調べ、想定される帳票や業務フロー等の実務情報としてまとめたものである。
- 第一弾として、従業員が1,200名規模の企業をサンプルとして、番号制度導入時に給与厚生業務について対応が必要な事項を調査・検討した結果を公開した。

2013/12/7 日本経済新聞

「番号制度 企業向け情報」 : http://www.nri.com/jp/opinion/r_report/bangoseido/kigyo.html

「番号制度への取り組み」 : http://www.nri.com/jp/opinion/r_report/bangoseido/index.html

2. 最近の取り組み

豪FRSM社と戦略的な業務協力関係を構築

- NRIは、豪州でインフラ事業を企画・運営するEast West Line Parks Limited (EWLP社)の子会社FRSM Pty Limited (FRSM社)と、日本からオーストラリアへの投資活性化と事業展開支援に関わる業務協力関係を構築した。
- NRIとFRSM社は、この業務協力関係をもとに、オーストラリア企業や日系企業を含むグローバル企業の、同国の観光、農業、資源・建設産業分野への投資や事業展開に関して、戦略構築の支援活動を強化する。
- この業務協力関係の構築を機に、NRIとFRSM社は、アジアおよび新興国におけるコンサルティングサービスの一層の拡充を図る。

2013/12/5 日経産業新聞

2. 最近の取り組み

シルバー人材センター会員にクラウドサービス「Smile to Smile」を提供開始

- NRI社会情報システムは、シルバー人材センターに、会員向けクラウドサービス「Smile to Smile」の提供を開始した。
- 本サービスは、会員である高齢者が、センターからのお知らせや就業情報などの情報を、パソコンやスマートフォン等のモバイル端末で閲覧できるサービスである。
- これまでは、会員が情報を得るには、センター職員に電話で聞いたり、センターを訪問することが必要だったが、本サービスを利用すれば、インターネット経由で、パソコンやモバイル端末からいつでもどこでも必要な情報へのアクセスが可能になる。
- さらに、センター職員と会員との情報共有もスムーズになり、センター側の業務の効率化も見込まれる。

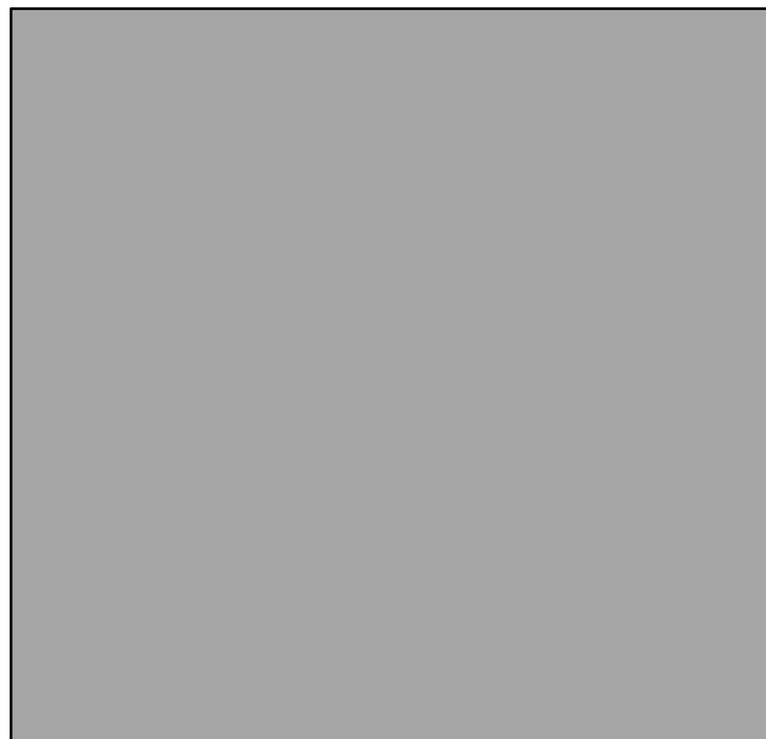
シルバー人材
会員に情報提供
NRI社会
情報システム
NRI社会情報システム(東京都江東区、水上耕一郎社長、03・6660・9766)は、シルバー人材センターに登録した会員に情報を提供するサービスを開始した。会員はセンターからの就業情報などをパソコンやスマートフォンなどのモバイル端末からインターネット経由で閲覧できる。これまで情報を得るにはセンターの職員に電話で聞いたり、センターを訪ねたりすることが必要だったが、このサービスはネット経由で利用するクラウド型で提供するセンター向け業務システムのオプションとして提供する。

2013/11/18 日刊工業新聞

2. 最近の取り組み

サイバー攻撃対策ソフトを米国で提供開始

- NRIセキュアテクノロジーズ(NRIセキュア)は、FFRI社が開発したサイバー攻撃対策ソフトウェア「FFR yarai」を、米国に拠点を持つ法人向けに販売開始した。
- 「FFR yarai」は、PCやタブレット端末など(エンドポイント)に導入することで、標的型攻撃からの防御を行うソフトウェアである。
- これまでNRIセキュアでは、米国でゲートウェイ型のセキュリティ対策を支援してきた。これに加えて、エンドポイント型のセキュリティ対策である「FFR yarai」を提供することで、米国拠点でも企業の情報システムを標的型攻撃から多層的に防御することを可能とした。
- NRIセキュアは、2014年末までに、米国で約50社の企業に「FFR yarai」を販売する計画である。



2013/12/6 日経産業新聞

3. プロジェクト事例

The logo for CLSA, consisting of the letters 'CLSA' in white, bold, sans-serif font, centered within a dark blue rectangular background. This background is flanked by thin yellow horizontal bars above and below.

CLSA証券 様

**ホールセール証券業務バックオフィス
ソリューション「I-STAR」を採用**

The logo for I-STAR, featuring the text 'I-STAR' in a blue, sans-serif font. The letter 'I' is smaller and positioned to the left of 'STAR'. A blue globe icon is positioned to the right of the 'R'. The entire logo has a subtle reflection effect below it.

3. その他 - 業績予想補足説明資料

■ 売上高3,800億円・営業利益500億円の収支モデル

(億円)

	2012年3月期 通期(実績)	2013年3月期 通期(実績)	2014年3月期 通期(1/30予想) ^(注)	前期比		2014年3月期 通期(7/25予想) ^(注)	前回予想差
				増減額	増減率		
売上高	3,355	3,638	3,800	+161	+4.4%	3,750	+50
売上原価	2,355	2,623	2,720	+96	+3.7%	2,680	+40
うち労務費	571	644	700	+55	+8.6%	690	+10
うち外注費	1,120	1,161	1,310	+148	+12.8%	1,280	+30
うち減価償却費	294	412	320	△92	△22.5%	320	—
売上総利益	1,000	1,015	1,080	+64	+6.3%	1,070	+10
売上総利益率	29.8%	27.9%	28.4%	+0.5P		28.5%	△0.1P
販管費	568	576	580	+3	+0.7%	580	—
営業利益	431	439	500	+60	+13.7%	490	+10
営業利益率	12.9%	12.1%	13.2%	+1.1P		13.1%	+0.1P

(注) 収支モデル作成のための想定値

4. その他 - コミュニケーション活動

フォーラム・説明会等



2013年11月
「ITロードマップセミナーAutumn 2013」



2013年11月
「NRI金融ITフォーラム2013」

出版物



2013年10月以降に出版された本の例

2030年日本価値創造プロジェクト
コンセプトブック Ver.3